



NEWS

VOL.
172

2015・10月発行

5年
研修旅行

日本一周!?!コース

五感を駆使してとことん日本と向き合う旅

前半 | 平成27年7月22日(水)～7月28日(火) 6泊7日

後半 | 平成27年7月30日(木)～8月5日(水) 6泊7日

今年度から新設された日本一周!?!コースは、鉄道の在来線(いわゆる鈍行)を中心に移動を行い、北は北海道から、南は鹿児島まで、日本の各地を訪れました。5年生48名が参加し、前半行程と後半行程に分かれて実施しました。前半・後半とも、天候に恵まれ、順調に旅行を進めることができました。後半行程は、松本市で気温が39度を記録するなど、猛暑の中での実施でしたが、生徒たちは元気に活動をしていました。

この旅行の目標は、仲間との協力と自己管理です。毎日宿泊するホテルが異なり、常に移動を伴う行程の中で、あるいは、気温が25度前後の北海道から猛暑の鹿児島に同日に移動するなど、普段とは異なる状況を体験する中で、次の行程を確認し、時間や体調の管理を自らで行うことよ

り、日々成長していきました。

この旅行を通して、もう一つの目標である、日本の多様性を理解するという面についても、身をもって感じることができました。姫路城、松本城、会津若松城、五稜郭、熊本城を比較したり、郷土料理をはじめ各地の文化に触れたり、現地に行かなければ分からない様々な多様性を学ぶことができました。また、広島から鈍行で5日間かけて到達した日本最北端の宗谷岬から、5時間後には飛行機で一気に鹿児島市へ移動が完了するなど、日本は狭いのか広いのか、様々なことを考えるきっかけを得ることができました。

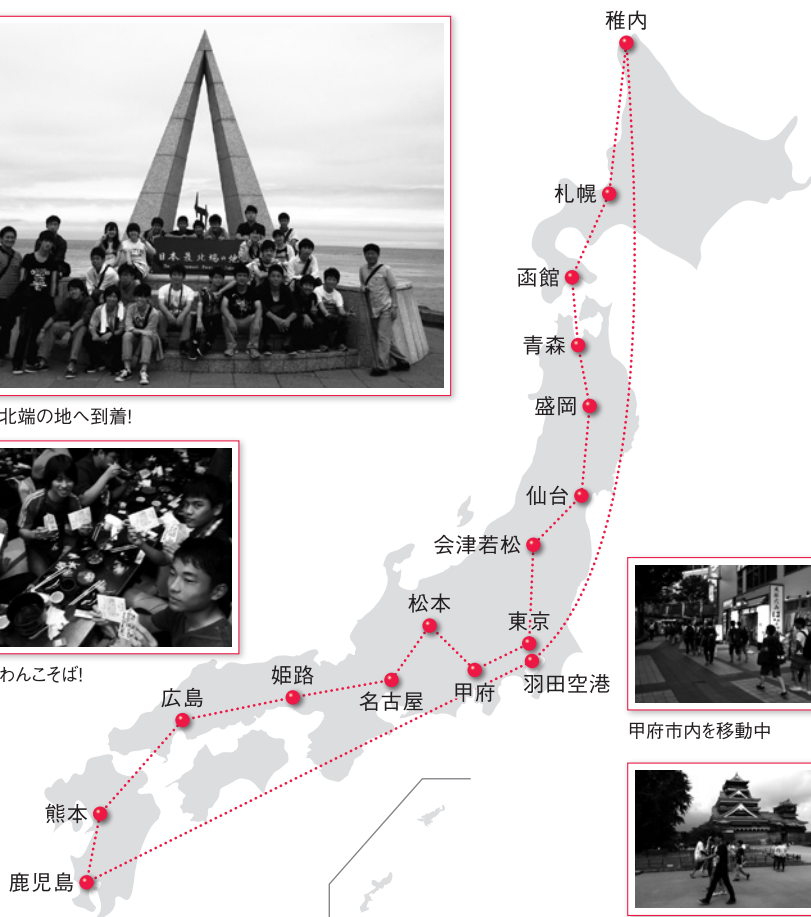
日本一周をすることで各地の文化や歴史、空気に触れ、改めて日本の多様性について学ぶ旅となりました。



日本最北端の地へ到着!



盛岡でわんこそば!



甲府市内を移動中



熊本城散策中

今回の旅では、半分ほどを移動時間に費やし、特に前半はほとんどを在来線で移動するという今の時代には珍しい体験をさせてもらえました。私は学校の登下校で電車を使用しており、普段は景色などをほとんど気に留めることもなかったけれど、今回、車窓からの眺めをじっくり見ることができました。一歩市街地を離れると、ほとんどが畑や田んぼに覆われていて、改めて自分の今ある生活は当たり前ではないということを感じました。 5年2組 益田 もも子

CONTENTS

●5年研修旅行	
日本一周!?!コース	1
台湾	2
パラオ	2
イギリス	3
●4年ニュージーランド語学研修	3
●2年ニュージーランド交換留学	4
●1年夏遠足	4
●芸術鑑賞	5
●教育研究会	5
●オープンスクール	5
●TOPICS	6
●文化祭Information	6
●CLUB NEWS	6

今年度の台湾研修旅行では、台湾留学サポートセンター主催のグローバルセミナーに参加しました。また、嘉義にある旭硝子の見学、九份の見学を行いました。グローバルセミナーには日本全国から90名あまりの高校生が集まり、開南大学と中正大学を拠点に多彩なプログラムを体験することができました。開南大学では、副学長の講演や、桃

園空港の税関、物流会社の見学、総統府、故宮の見学、日本の舞台パフォーマンスグループ「enra」の台湾公演の鑑賞などを行いました。中正大学では、人権問題や温暖化などのテーマで他校の生徒や台湾の高校生と共に英語でのプレゼンテーションも行いました。食事では小龍包など台湾料理も楽しみ、有意義な8日間でした。



プレゼンテーションに向けての話し合い



プレゼンテーションの様子

中正大学では、現地の高校生と交流し共に授業を受けました。その際に英語が飛び交う多国籍な教室で「グローバル化」を実感しました。一方でこのような環境が増えると、それぞれの国の教育や言語が消滅してしまうのではないかと不安を感じました。台湾研修旅行はこれからどんどん進む「グローバル化」を考えるきっかけを自分に与えてくれたと思います。 5年1組 佐々木 絃

日本とは違う生活環境や食文化に戸惑うことも多くありました。台湾の街では活気あふれる雰囲気を感じ、台湾がアジア圏で成長していることを実感しました。また、地元の高中生と英語で意思疎通をはかり、相手の英語力の高さに驚きました。将来グローバル社会で勝ち抜くためには、英語力が不可欠であることに改めて気づかされた研修旅行でした。 5年5組 石原 蓉子

今年度も5年生16名が、太平洋に浮かぶ島国「パラオ共和国」を訪れました。この国は美しい海と珊瑚礁に囲まれ、人口がおよそ2万人、面積は日本の屋久島程度の小さな国で、環境問題に関するさまざまな取り組みを行っていることでも知られています。

初日は、午前中にオールドエイジセンターを訪問し、パラオの年配の方と交流するとともに、戦争中のお話を伺いました。午後は、パラオの環境大臣とミーティングを行い、環境問題に対するパラオの取り組みについて伺いました。その後、ゴミリサイクル処理場を視察し、実際の取り組みの様子について学びました。

2日目は、水着に着替えて一日中パラオの海を満喫しました。世界遺産にも登録されているロックアイランドのミルクウェイやロングビーチを訪れたり、パ

ラオにしか生息していない毒のないクラゲのジュエリーフィッシュとも触れ合ったりしました。一日の締めくくりには、ビーチの清掃活動を行い、少しでもパラオの環境保全に貢献することができました。

3日目は、太平洋戦争の激戦地となったペリリュー島を訪問しました。多くの日本兵が立て籠もっていた千人洞窟や、多くの死傷者を出したオレンジビーチなどを訪れ、戦争の悲惨さを肌で感じました。

最終日には世界最大級の飼育施設であるドルフィンズパシフィックでイルカと触れ合い、午後にはパラオの高校生と野球などを通じて交流しました。

南の島の美しい海を満喫するだけでなく、環境や平和についても学び、社会が抱えている問題や、自分の在り方・生き方についても考えさせられる旅になりました。

日本でもゴミを再利用する動きはありますが、パラオではリサイクルを通じて雇用をつくったり、産業を起こそうとしていたりして、日本より一歩進んでいるように感じました。 5年3組 高木 康成



環境大臣とのミーティング



ゴミリサイクルセンターの見学

同じ年代のパラオ人と交流するときには大切なのは、とりあえず話しかけてみることでした。外国の人と交流する中で色々なことを知ることができ、自分の今の英語力はまだまだ足りないと思いました。 5年4組 坪井 裕真

透き通った海の中を見ると、たくさんの魚が泳いでいる姿や様々な形の色とりどりの珊瑚が見え、神秘的でした。ペリリュー島で日本軍が使っていた洞窟には、当時使われていたビンなどがそのまま残されていました。この空間には、けが人や病人もおり、排泄もされていて悪臭が漂っていたと聞き、当時の軍人の苦しさを肌で感じることができました。 5年5組 小田 真太郎



ロングビーチでパラオの海を満喫



ペリリュー島での戦争遺構の視察

5年生24名がイギリスへ語学研修に行ってきました。ロンドンからバスで2時間離れたハーストカレッジに滞在し、午前は各レベル別の授業、午後はアクティビティを通じて異なる文化を持つ同年代の生徒と交流を持ちました。また、オックスフォードやケンブリッジなどへ遠足で行き、日本とは雰囲気の違ったイギリスの文化を感じ取りました。

トルコやポルトガル、スペイン、イタリア、フランス、中国とさまざまな国の生徒が

集まり、全員が母国語ではない英語でコミュニケーションをとりました。初めの方は、思いを上手く伝えることができずに悩む姿もありましたが、授業やアクティビティ、寮生活の中で次第に積極的に関わることができるようになり、異なる文化を持つ人との交流を心から楽しんでいました。また、2週間、日本を離れることで、日本の文化や日本人の気質に改めて気づくことのできた研修旅行となりました。

約2週間のイギリス研修旅行は私にとって初めてのことが多くありました。まず、私は海外に行ったことがなかったので、渡航準備の一つひとつを入念に行いました。しかし、出発当日、「さあ、今から行くぞ!」というときに、楽しみな気持ちと同時に不安な気持ちが出てきました。ハーストカレッジに到着してからも気持ちが落ち着かず、環境の違いから最初の2、3日はあまり体調がよくありませんでした。それでも、一緒に研修に参加した本校の友人の支えや、世界中から集まってきた同世代の人たちとの交流を持つことで、毎日が楽しくなっていました。授業や休み時間、そしてアクティビティの時間を通して、彼らとなんとか自分の意思が伝わるように身振りや手振り、単語や簡単な英文を使用しました。この2週間で、世界中には様々な言語を母国語としている人々がいるけれど、伝えようとする気持ちや英語があれば、仲良くなることのできるのだと感じました。もっと英語力を身につけていきたいと思っています。

5年2組 池田 詩織



修了式

イギリス研修旅行を振り返ると、私の英語力は昨年のニュージーランド語学研修の時よりも上達したと思います。去年は自分の英語力のなさに悔しい思いをしました。その悔しさをばねにして1年間英語を勉強した甲斐がありました。学んだ英語を文レベルで何度も使うことができ、英語を積極的に話すことで海外の生徒と交流を深めることができました。また、ハーストカレッジには世界中から学生が集まるので、今まで生で耳にしたことがない言語もたくさんありました。これもこの研修の魅力の一つだと思います。その学生たちの生活習慣や態度も様々で、時に不愉快な思いもしましたが、交流をする中で理解し合えることもたくさんありました。その中でも、一番仲良くなったのは中国人の子たちです。彼らの話す中国語を聞いて、勉強してみたくなりました。また、フランス人の友達からフランス語での数の数え方を教えてもらいましたが、日本語にはない音のようで、発音がとても難しかったのが印象的でした。また、スポーツや芸術のアクティビティの時間にはバスケをして、交流を深めることができました。日本へ帰る時は、彼らと別れるのが本当に寂しかったです。

5年3組 一箭 志津香



授業風景

4年ニュージーランド語学研修

4年生25名は、ニュージーランドのタウランガ市にあるオットモエタイ高校へ語学研修に行きました。学校ではパディの生徒の履修教科の授業に参加し、帰宅後はホストファミリーと過ごす24時間英語漬けの3週間です。

平日は、数学の授業で脚光を浴び、体育ではラグビーのタックルを習い、家庭科でスコーンづくりを楽しむなど、各々高校生活を満喫していました。週末は、マンガヌイ登山やワイヒ金鉱観光等に遠足で訪れる

など、みんな、意欲的に英語を使いながら文化の違いを楽しんでいました。

今年は、学年登校日にあわせて現地よりスカイプを使ってパディを紹介しました。パディの生徒が大喜びし、受入れに対するお礼の機会となりました。また、戦後70年に因み8月6日には現地の新聞の取材を受け、9日のナガサキ追悼集会にも有志が参加しました。生徒達は、ヒロシマの高校生として親善大使の務めを立派に果たし、一生忘れられない夏となりました。

私は3週間の語学研修で、国が変わればたくさんのことが変化していくことを一番強く感じました。はじめはニュージーランドの生活は日本と異なるものばかりで、とまどうことがたくさんありました。ここで日本との違い、他国であることを実感しました。しかし、いつの間にかニュージーランドに慣れていき、自分自身が変化していることに気づきました。国が変われば、そこにあるほとんどのものが変化するけれども、自分自身も変化していけるという体験をすることができました。

4年2組 野間 成業

ニュージーランド語学研修を通して私が学び、感じたことは、言語の壁よりも文化の壁の方が厚いということです。言語の壁は、習っていた簡単な表現や身振り手振りで何とか乗り越えましたが、文化の壁がとても厄介なものとなりました。しかし、その文化の壁を克服しようとしたおかげで、日本とニュージーランドの間にある違いを知ることができました。また英語での会話も、最終日に近づくにつれてスムーズになっていき、成長がよくわかりました。本当に素晴らしい語学研修だと思いました。

4年4組 土井 駿次郎



パディとの交流



修了式／パディと記念撮影

2年ニュージーランド交換留学

● 平成27年7月26日(日)～8月10日(月) ●

2年生18人が、ニュージーランドのパサデナ中学校と交換留学をしました。5月に本校に来て、各家庭に受け入れた生徒と再会をするところからのスタートだったので、ニュージーランドでの生活に慣れるのもとてもスムーズでした。

パサデナ中学校では、自分とペアの生徒のクラスに入って一緒に授業を受けました。個人やグループで課題に取り組むことが多く、戸惑う部分もありましたが、パサデナ生に教えてもらいながら、楽しく学び、交流することができまし

た。休憩時間には、一緒に体を動かしたりしながら、クラス以外のパサデナ生に話しかけたりするなど、普段の生活の中でも交流を深めていきました。

2週間の生活の中で、最初は違いを受け入れることで精いっぱいでしたが、次第に自分からコミュニケーションをとれるまでに成長しました。そして、もっと英語が話せるようになりたい、もっと他の世界も見てみたいと次の目標も見つかりました。

僕は、伝えることの難しさを学びました。最初はホストファミリーとあまり会話ができませんでした。しかし、「何とか伝えよう」という気持ちを常に持って取り組んでいたら、滞在2週目くらいからなんとなくはあるけれども、話が通じるようになってきました。すると話すことがどんどん楽しくなってきました。日本に帰ってからもっと英語を学びたいという意欲が湧いてきました。 2年2組 山本 朋季

私は、コミュニケーションの大切さを学びました。コミュニケーションで最も大事なものは、言葉ではなく、伝えようとするのだと思います。最初は英語だけの生活に慣れず、うまく話せませんでした。しかし、ニュージーランドの人たちが聴こうとしてくれたので、私ももっと伝えたいと思いました。マオリの文化など、異文化を体験でき、英語も上達したのでとてもいい経験になりました。 2年1組 岡田 日菜子



一緒に課題に取り組んだ授業



広島、原爆、平和について発表

1年夏遠足

● 平成27年7月24日(金) [3組・5組]、7月27日(月) [2組・4組]、8月3日(月) [1組] ●

真夏の太陽が照りつける中、1年生が広島市の2つの世界遺産を訪れました。宮島から海路を利用して平和公園に向かう「夏遠足」は、広島に住む生徒たちが、地元の歴史や地理をより深く理解するきっかけを作るために、今年から始めた行事です。

宮島では厳島神社と千疊閣を訪れ、何百年もの歴史を刻む建造物を中学生になった目で眺めてみました。宮島から平和公園へは「ひろしま世界遺産航路」を利用しました。本

川に入ってから甲板に出て、70年前の8月6日に多くの人たちが水を求めて川に入ったことなどを考えながら、原爆ドーム近くで下船しました。原爆ドームを改めて訪れ平和公園内を歩き、最後に平和記念資料館に入りました。クラスごとに分かれての少人数の体験で、「平和とは何か」「今、何をすべきなのか」など、それぞれの思いと共にくさんのことを感じた1日でした。

以前、平和記念資料館を訪れたときはまだ幼く、不気味なのと怖いので、正直すぐに帰りたいという思いがありました。しかし今回は、ちゃんと70年前に向き合っていかなければならないという思いで、展示されている人形も写真もしっかりと自分の目で見ることができました。怖いと思ったけれど、だからこそ、同じことを繰り返してはいけないと思いました。 1年2組 林 莉子

2つの世界遺産を1日で見ることによって、自分が広島にいることを改めて実感できました。また、平和や文化の大切さを認識することで、この先の未来が変わってくることも分かりました。自分が後世に伝えていかないと誰が伝えていくのかと考えると、自分が伝えていくしかないという気持ちになります。 1年4組 吉本 拓海

私がこの夏遠足で一番印象に残り、また勉強になったところは、平和記念資料館です。初めて行って、とても衝撃的でした。まったく知らなかったことや、聞いたことはあるけれど詳しくは知らなかったことが、実はたくさんあるのだということがわかりました。今の自分が生きている世界が、どれほど幸せなものかを実感することもできました。

今年は戦後70年です。改めて戦争について振り返ってみるいい機会となりました。

1年5組 森山 のん



厳島神社



平和記念資料館



宮島へ向かう船上



「ひろしま世界遺産航路」の船上

今年度の芸術鑑賞は、本校の創立50周年記念として「桂文珍独演会」を実施しました。演目は、分かりやすくユーモラスな桂文三さんの「動物園」、ネット世代を風刺した桂文珍さんの「心中恋電腦～バーチャルワイフ～」、桂楽珍さんによる古典演目「手水廻し」、そして再度文珍さんによる「マニュアル時代～御血脈」です。会の前は、お笑いといえ古

典芸能ということで抵抗を持っていた生徒もいたようですが、いざ会が始まると、当代きっての名手、桂文珍さんとお弟子さん方の話芸に、満員のホール全体が笑いに包まれました。生で見る機会が中々ない落語を通じて、日本語の奥深さや磨き上げられた語る力を実感する貴重な一日となりました。



桂文珍さん
「心中恋電腦～バーチャルワイフ～」



桂楽珍さん「手水廻し」



桂文三さん「動物園」



桂文珍さん「マニュアル時代～御血脈」

文珍さんの面白さの一番の秘訣は、彼自身も楽しんでいることだと思います。私たちの反応を楽しみ、心の底から生き生きとしていたので、難しそうな話でも聞き入ることができました。最近は動画などで笑いを取る人が多いけれど、言葉だけで人を喜ばせることの方がよっぽどすごいと思いました。今日の落語では、自然と情景が浮かび上がってきました。 1年4組 野々村 華帆

落語のお話に多くの人がひきつけられるのは、ただ面白いことを話しているからではなく、観客との間につながりをつくり、その一体感を元に笑いが生まれていたからだと思います。LINEやメールでは感じることでできない、相手の気持ちを考え、それに対して反応する気持ちのキャッチボールの大切さがわかり、落語の話す力、相手の気持ちを読み取る力の偉大さを感じました。 6年3組 三原 実季

教育研究会

5時間目に各教科で研究授業を実施しました。授業者の各教員が様々な学年を対象に、効果的な指導法を模索・実践し、対象となった学年・クラスの生徒たちは、普段とは少し違う雰囲気での授業によく参加してくれました。6時間目には教科会を開き、今後の授業の在り方などを検討しました。最後の全体研修はシェルホールで行われ、個人情報取り扱い方についての研修、教育界の現状についての発表・講話がなされました。この研究会を通して、教員一同、自己研鑽と目標として掲げる「21世紀型高学力の育成」の再認識ができたよい機会となりました。



2年生英語Jの研究授業



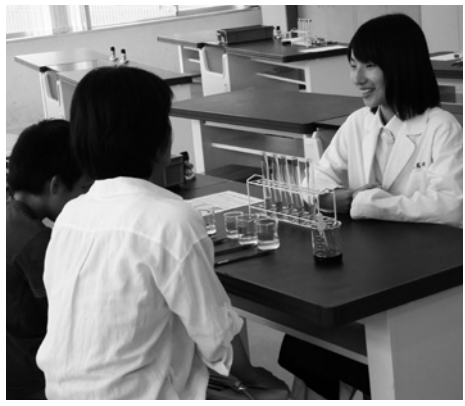
6年生古典の研究授業



1年生理科の研究授業

オープンスクール

オープンスクール「夏は、なぎさへ」～NAGISA わくわく体験～に、今年もたくさん的小学生や保護者の方々が来校されました。管弦楽部の演奏と共にお出迎えし、教科の学び体験、クラブ活動体験、本校生徒が質問に答える交流カフェ、研修旅行の展示など盛りだくさんの「わくわく体験」を楽しんでもらいました。その中で生徒たちは小学生と一緒に汗を流したり、学校生活のことや研修旅行のことをわかりやすく伝えたり様々な場面で活躍しました。限られた時間でしたが、参加された方々には、生徒たちと直接触れ合い、彼らが生き生きと学ぶ「なぎさ」の一端を感じていただけたのではないのでしょうか。



実験をしながら交流



数学の授業体験

平成27年度全国高等学校総合体育大会 テニス競技大会 (第105回全国高等学校テニス選手権大会)



気温36度
炎天下での初戦開始

日程：8月5日(水)～8月8日(土) 会場：大阪市 マリンテニスパーク・北村
個人戦シングルス 澤田文弥(5-3)

「風になれ 今青春が 走り出す」のスローガンのもと、インターハイの愛称で親しまれている高校総体テニス競技が大阪市内にて開催され、連日猛暑日のなかで熱戦が繰り広げられました。

6月の県予選で、第6シードから決勝まで勝ち上がった澤田文弥くん(5-3)が広島県代表として参加しました。「全国一勝」を目標に臨んだ初戦では、4-3まではリードを保ったものの、ゲーム連取・逆転をゆる

し、そのまま押し切られて初戦を勝利で飾ることができませんでした。体力、集中力、そして本調子ではない時こそそのメンタルコントロール力を、この一年で大きく伸ばして勝ち取ったインターハイ出場ですが、「全国一勝」は、次の機会へと持ち越されました。今年から新キャプテンとして部活動を牽引する任を負うとともに、次大会での活躍が期待されます。

文化祭Information

今年の文化祭のテーマは『Link』です。このテーマは5年5組福本彩乃さん、3年4組河野茉鈴さんのアイデアで、「これまでの50年、先輩方が続けてきたなぎさの文化祭がこれからも続いて、全校生徒の力で、多くの人や次の学年に繋いでいこう。」という想いが込められています。51回目となる文化祭、みんなで力を合わせ、素晴らしい文化祭を作り上げましょう。

1日目 校内発表会

日時：平成27年11月6日(金) 場所：本校体育館

2日目 一般公開

日時：平成27年11月8日(日) 場所：本校校舎・体育館・グラウンド

CLUB NEWS

高校水泳部

- 中国高校選手権水泳競技大会 水球の部
日程:平成27年7月24日(金)～26日(日)
成績:第7位
- 平成27年度広島地区高等学校春季水泳競技大会 水球の部
日程:平成27年8月23日(日)
成績:第3位

高校硬式テニス部

- 第55回中国高等学校テニス選手権大会
日程:平成27年6月20日(土)～22日(月)
成績:男子団体戦 第3位
丸石 拓海(6-5)・澤田 文弥
竹野 光稀(5-4)・丸山 直人(5-4)
- 第55回広島市夏季高校生テニス選手権大会
日程:平成27年8月1日(土)～7日(金)
成績:男子シングルス
竹野 光稀 優勝
村竹 裕貴(4-5) 準優勝
男子ダブルス
竹野 光稀・丸山 直人 優勝
木村 颯太(4-1)・村竹 裕貴 準優勝
女子1年生シングルス
本田 樹乃佳(4-4) 優勝
藤田 りさ(4-3) 準優勝
- 第68回広島県高等学校テニス新人大会 広島地区予選
日程:平成27年8月17日(月)・18日(火)
成績:男子ダブルス
澤田 文弥・竹野 光稀 県大会出場決定
丸山 直人・村竹 裕貴 県大会出場決定
田部 智也(4-5)・木村 颯太 県大会出場決定
男子シングルス
澤田 文弥 県大会出場決定
竹野 光稀 県大会出場決定
丸山 直人 県大会出場決定
村竹 裕貴 県大会出場決定
田部 智也 県大会出場決定
女子シングルス
沖 菜摘(5-1) 県大会出場決定

- 藤村 野乃(4-4) 県大会出場決定
- 本田 樹乃佳 県大会出場決定

中学硬式テニス部

- 第42回全国中学生テニス選手権大会 中国予選大会
日程:平成27年7月24日(金)～26日(日)
成績:男子団体戦 準優勝
(第42回全国中学生テニス選手権大会 全国大会出場)
宮崎 崇文(3-2)・佐谷 拓海(3-3)・田中 真於(3-3)
萬谷 颯斗(3-3)・荒井 一貴(3-4)・秋吉 大地(3-5)
大西 瑛士(2-1)・小林 遼河(2-2)
後藤 深太郎(2-3)・大貫 颯太(1-2)
- 男子シングルス
秋吉 大地 ベスト8
- 男子ダブルス
秋吉 大地・後藤 深太郎 準優勝
(第42回全国中学生テニス選手権大会 全国大会出場)

中学陸上部

- 平成27年度広島市中学校陸上競技選手権大会
日程:平成27年6月13日(土)・14日(日)
成績:1年女子100m 山田 千尋(1-2) 第2位
一部女子200m 難波 彩実(3-2) 第7位
二部男子走幅跳 坂元 友斗(2-2) 第3位
- 第61回全日本中学校通信陸上競技大会 広島県大会
日程:平成27年7月4日(土)・5日(日)
成績:1年女子100m 山田 千尋 第6位
- 第42回広島県中学校陸上競技選手権大会
日程:平成27年7月18日(土)・19日(日)
成績:1年女子100m 山田 千尋 第4位
- 第63回広島市中学校総合体育大会 陸上競技の部
日程:平成27年8月24日(月)・26日(水)
成績:高学年男子100m 檀上 壮祐(3-5) 第8位
高学年男子走幅跳 福島 康太(3-4) 第7位
高学年女子200m 難波 彩実 第8位
1年女子100m 山田 千尋 第1位
1年女子80mハードル村中 瑠莉(1-1) 第4位
1年女子4×100mリレー 第2位
石松 桜杏(1-5)・山田 千尋・柳生 彩水(1-5)・

- 村中 瑠莉
1年女子総合 第6位

中学サッカー部

- 平成27年度広島市中学校選手権大会 佐伯区大会
日程:平成27年4月26日(日)～5月16日(土)
成績:優勝
- 平成27年度広島市中学校選手権大会 広島市大会
日程:平成27年5月31日(日)
成績:ベスト16
- 第63回広島市中学校総合体育大会サッカーの部 佐伯区大会
日程:平成27年8月1日(土)～8月9日(日)
成績:優勝
- 第63回広島市中学校総合体育大会サッカーの部 広島市大会
日程:平成27年8月22日(土)
成績:ベスト16

中高囲碁将棋部

- 第14期村山聖杯将棋怪童戦
日程:平成27年8月16日(日)
成績:高校生怪童戦 柏尾 稜(5-1) 第4位

社会体育(中学水泳)

- 第55回広島県中学校水泳競技選手権大会
日程:平成27年7月23日(木)・24日(金)
成績:800m自由形 小西 咲良(2-3) 第1位
400m自由形 小西 咲良 第1位
- 第49回中国中学校水泳競技選手権大会
日程:平成27年8月8日(土)・9日(日)
成績:800m自由形 小西 咲良 第5位
400m自由形 小西 咲良 第5位

その他表彰

- 全国高等学校ビブリオバトル2015広島県大会
日程:平成27年7月19日(日)
成績:竹之上 真奈(5-1) 第3位